

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

はやし・もとひと県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

空港を核にした国際都市へと発展を続ける成田市選出の林幹人(はやし・もとひと)県議は的確に未来を見据え、斬新な政策・施策を提言し続けて、1期目ながら若手のホープとして存在感を増しています。特に成田空港に関しては他に追随を許さぬ論客ですが、9月県議会の一

般質問でも格安航空会社の参入や、カジノ建設など成田空港拡充・発展に係わる課題について、森田知事らに方針を質しました。また、世界で注目を集めている医療と観光を結びつけたメディカルツーリズムについて、早急な取り組みを県に要望しました。

林議員 医療と観光を結ぶための政策が注目されている。世界の医療観光客数は六百万人以上と推測され、市場規模

成田市特集

9月県議会一般質問



9月県議会で登壇し、一般質問に臨む林幹人県議

は千億ドルへと成長が見込まれている。医療水準が非常に高い我が国では、このメディカルツーリズムが大きな可能性を持っています。

持つておらず、徳島県や大阪市などの自治体や民間が既に動きだしている。

千葉県は成田空港、ア

要望
林議員 世界規模

県としても既に海外からの受け入れを始めた病院もあり、成田空港と多様な観光資源を有する本県として、人間ドックなどの健康管理とスポーツ・温泉などを組み合わせた滞在型観光は一つの切り口となるものと考えています。

県としては、地域医療の実情や地元の意向などを十分に踏まえながら、検討していく必要があると認識しています。

林もとひと
オフィシャルサイト
<http://www.motohito884.com/>
「新しい成田を目指して」
「月間コラム」毎月15日更新
その時々の世相や出来事を県民とともに考えます。

林もとひとの政策・提言やプロフィールを紹介しています。毎週更新のブログもこのホームページからご覧になれます。

機関を有し、メディカルツーリズムを推し進めるには最高の環境が整っている。そこでうかがいたい。本県の外国人旅行客の誘致の環境として、メディカルツーリズムの可能性についての県の認識はどうか。

商工労働部長 いわゆる「メディカルツーリズム」については、国が決定した「新成長戦略」の中で、医療交流としての外国人患者の受け入れ拡大や、医療と観光などが位置づけられています。

県内でも既に海外からの受け入れを始めた病院もあり、成田空港は、既に世界有数の国際線ネットワークの拠点になっていますが、今後三千万回が実現した場合は、就航都市の拡大に加え、格安航空会社やビジネスジェットの就航が見込まれ、その機能は一層拡充される予定です。

また、周辺地域には、県内有数のホテル集積や大型商業施設の計画もあり、コンベンション需要との相乗効果をあわせて、本県経済の活性化や雇用の創出などが期待できるとはもとより、国際空港としての魅力向上という観点からも検討を急ぐ危機感を持って、全庁をあげて取り組むことを要望する。

林議員 空港周辺でカジノ導入を検討する目的は何か。

成田空港は、既に世界有数の国際線ネットワークの拠点になっていますが、今後三千万回が実現した場合は、就航都市の拡大に加え、格安航空会社やビジネスジェットの就航が見込まれ、その機能は一層拡充される予定です。

効果の算定も必要ですが、現在、国において特別法制の動きもあり、まずはこの動向を見極めていく必要があります。

世界の市場1000億ドルの成長分野

千葉県は好適地、対応急げ

医療と観光のメディカルツーリズム

林もとひと県議・プロフィール

○略歴○

昭和48年 9月	銚子市に生まれる
平成4年 3月	銚子市立銚子高校卒業
平成8年 3月	玉川大学文学部卒業
5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年 4月	空港グランドサービス入社
平成12年 4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年 4月	衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)
平成19年 4月	千葉県議会議員初当選

○現職○

- ・県議会 健康福祉常任委員会委員
- ・千葉県 国土利用計画地方審議会委員

成田市特集

若さと情熱で
県政に手を貸す
林幹人

9月県議会一般質問

はやし
林もとひと
幹人
県議

成田空港格安航空会社受け入れ検討

林議員 前原大臣が、成田空港に格安航空会社を導入するため、新たなターミナルを整備するよう成田空港会社に要請したとの報道があつたが、県の考えはどうか。

総合企画部長 国は「新成長戦略」などにおいて、格安航空会社やビジネスジェットの受け入れ環境の整備を打ち出しており、成田

ビジネスジェットも
空港会社においても、検討を進めていると聞いています。

林議員 「成田空港緊急戦略プロジェクト会議」でも提言された国内線の拡充について、県は今後どのように取り組んでいくのか。

知事 県ではプロジェクト会議の提言を受けて、私

設置し、既に全国二万社の企業を対象にリーフレットを配布するなど、国内線を

国際競争力アップ
含めた成田空港の利便性向上のPRに努めています。

三十万回への容量拡大にあわせ現在八路線の国内線を増強することで、成田空港の強みである豊富な国際線ネットワークの効果を全国に波及させることができるものと認識しています。

林議員 格安航空会社あるいはビジネスジェットの受け入れ。どちらも潜在能力を高める非常に大事な取り組みであるが、これらは三十万回が前提の話であるため、十分な

うえ、成田空港の豊富でバランスの取れたネットワークがさらに生かされることになり、国際競争力強化という観点からも望ましいもの

うござんす。

ト面で圧倒的な優位に立てば羽田と成田は共存共栄が十分可能である。

ジア諸国と比べると割高な着陸料は見直していかなければならぬだろう。コスト面で圧倒的な優位に立てば羽田と成田は共存共栄が十分可能である。

農林水産部長 県では新規就農者の確保に向けて、県ではどのように情報発信を行なっているのか。

林議員 新規就農者の確保に向けて、県ではどのように情報発信を行なっているのか。

農林水産部長 県では新規就農者の確保に向けて、農業関係団体などと連携

し、就農相談会の開催や農業分野における求人情報の収集・発信、無料職業相談などを実施しています。

さらに、農業大学校において、農業に関心のある方

を対象とした農業体験講座

などを行なっています。

ただくよう要望する。

要望 林議員 農業が就

業分野における求人情報の収集・発信、無料職業相談などを実施しています。

さらに、農業大学校において、農業に関心のある方

を対象とした農業体験講座

などを行なっています。

ただくよう要望する。

要望 林議員 農業が就

業分野における求人情報の収集・発信、無料職業相談